

93

特252

421

國防と總選舉

帝國在郷軍人会本部

昭和十二年四月



0003037000

0003037-000

特252-421

国防と総選挙

帝国在郷軍人会本部

昭和12

ABA

特252.
421



國防と總選舉

一 世界の趨勢

過去數世紀に互り世界を支配した個人主義、自由主義は、世界文化の進展に多大の貢獻を爲す所があつたが、其の一面に於て各種の弊害を齎した。即ち此の思想と共に生れた資本主義は自由競争を基調とする結果、國內的には勞資の對立、都市と農村との相剋、國際的には列強の市場爭奪、植民地獲得の競争となり、之を支援する爲軍備擴張、軍國主義の對立となり、遂に世界大戰を生むに至つた。

世界大戰の結果、戰敗國は殆ど没落同様の運命に陥り、戰勝國すら國內産業の荒廢、戰費の償却、戰後復舊等の爲惱まされ、加之、ウイルソンの民族

國防と總選舉



自決主義に基く弱小國家の簇出は、國際關係を益々複雑ならしめ、歐洲平和機構に亀裂の萌芽を宿すに至つた。

一方大戰の打撃を蒙らない諸國の生産が著しき躍進をなしたるに加へ、戰後年月の経過に伴ひ參戰諸國の創痕漸く恢復し、其の生産力亦舊に復するに至りたる爲世界は今や生産過剩の状態を呈し、其の結果國際的には排他的競争益々盛となり自國産業擁護の爲、關稅の障壁を高め、割當制を設け、果ては利害共通する本國と植民地、或は數國間に經濟ブロックを構成せんとするに至り、國內的には個人營利主義の追求と相俟つて競争は益々激甚となり、企業の獨占強化と、大資本による經濟的霸權の確立とを齎し、金融資本の制覇となり、失業苦と生活難とは容赦なく民衆を見舞ふに至つた。

是に於て大戰後一時世界を風靡した平和協調主義は破綻を來し反動的に國

家主義が擡頭して來た。尙地球上に於ける土地及資源を眺むるに、各國家に對し極めて不公平に分割せられ、帝國を始めとして海外發展に立遅れた國や、世界大戰に於ける戰敗國は極めて慘めな状態に置かれ、自由活動の餘地は全く奪はれて居る。此の國際間に於ける不平等なる状態を飽く迄維持し、富める國家は永久に富み、貧しき國家は永久に貧しき境地に甘んぜしめんとするのが、今日世界を支配する平和機構にして、國際聯盟も、華府會議も、倫敦會議も、畢竟現状維持派の目的を達せんとする繰りに過ぎないのである。

斯くの如く、一方にのみ都合よき條約が、國民の意氣に於て、人口に於て、將又生産能力に於て、向上の一路を辿りつゝある國々に到底甘受せらるべくもあらざることば當然である。是れ獨、伊等の諸國が、右の桎梏より脱却せんとして銳意努力しある所にして、獨逸の國際聯盟脱退及ベルサイユ條約軍

事條項の破棄宣言並之に伴ふ陸海空軍の大擴張、伊「エ」紛争の如き其の現れに過ぎない。即ち世界は今や現状維持と、現状打破との二大思潮が狂瀾怒濤の勢を以て隨處に火花を散らして居る所以である。

又一方一昨年モスコに於て開催せられた第七回コミンテルン大會に於てフアシズム排撃の爲之に反對する有ゆる勢力と提携することを決議せる以來所謂人民戦線運動世界各地に起り、西班牙内亂を繞りて今や蘇佛を中心とする人民戦線諸國と獨伊を主體とするフアシズム諸國とが互に相分れ實力を以て抗争し正に國際戦争の觀を呈して居る。

此の澎湃たる思潮、各國家各民族の熱烈なる欲求は、現世界平和機構の力を以て堰き止めることは中々困難である。即ち世界は政治、經濟、思想、軍備等有ゆる方面に於て一大轉換期に直面して居る。

即ち世界各國は何れも内外の非常時に直面して居る。此の非常時を克服せんが爲、外に對しては國家主義に立脚して發展を策し其の手段を軍備擴張に求め、内に對しては個人主義、自由主義の弊害を除去する爲フアツシヨ、ナチス、コンミニズム、ニュー・デイル等の運動が勃興するに至つた。再言すれば世界は今や非常時克服の爲最大の努力を拂ひ、噴火山上に亂舞しつゝある有様にて、世界大戰直前の國際情勢に彷彿たるものがある。如何なる平和論者も、如何なる自由主義者も、將又如何なる現状維持派も、此の現状に目を掩ひ安閑たることは出來まい。

今や世界は到る處に戦争の原因伏在し、若し其の一角に不幸にして戦争の勃發を見んか、誰か第二次世界大戰の再現なしと保證し得やうか。

二 帝國內外の情勢

滿洲事變勃發以來我が國民が克く帝國本然の姿に覺醒して、歐米崇拜の舊思想より蟬脱し、舉國一致國際聯盟を脱退して滿洲國の建設に邁進しつゝある颯爽たる態度と、世界各國が經濟不況に沈淪しあるに拘らず、帝國の貿易が有ゆる壓迫障礙に屈せず未曾有の躍進を遂げつゝあることは、痛く關係列國の神經を刺戟し、各國の嫉視反目は齊しく帝國に注がれ、日本の躍進を阻止せんとする宣傳策謀は各方面に其の烽火を揚げつゝある。

今帝國と密接なる關係を有する列強の情勢を觀察するに、蘇聯邦は極東に我が平時の總兵力に超過する三十萬以上の大軍と、約千百機の飛行機、約千臺の戦車を集中し、之を極東車として獨立作戰の能力を附與し、蘇滿國境到處に堅固なる現代築城を構築して攻防の據點となし、之が補給を容易ならしむる爲西伯利鐵道を複線化し、更に之に平行してタイシエツトよりバイカ

ル湖の北側を迂回し、コムソモリスクを経てソフガワニに至る千八百五十吉米のバム鐵道の建設に著手し、産業五年計畫の重點を西伯利に置きウラル、クズネツツの重工業地帯、バイカル湖西方アングラ企業地帯、黒龍江州ブレイヤ重工業地帯、コムソモリスク軍需工業地帯の建設に銳意努力し、總兵力百六十萬(ゲ・ペ・ウ特別軍隊を加ふれば百八十五萬)、飛行機六千機、戦車五千臺以上を有し乍ら更に二百一億留(ゲ・ペ・ウ軍隊費を入れて二百五十億留)以上の大豫算を共て軍備の大擴張を企圖して居るのみならず、前述第七回コミンテルン大會に於て赤化の主攻撃を日本、獨逸及波蘭に選定し、從來の戦術を變更して其の他の資本主義國と提携して各個撃破の戦術を採用せることは、果して彼が平和政策に轉向し、其の傳統的極東政策を放擲したものであらうか、蘇軍に漲る對日戦意、蘇國の外蒙、新疆方面に對する積極的侵略工作、

八
竝支那南京政權との接近等の事實より判断すれば、彼は機會だに發見すれば對日攻勢に轉ずる虞なしと何人が斷言し得べき、此等は専門家たらずとも思ひ半ばに過ぐるものがあらう。

米國が支那大陸に關心を有することは其の傳統的政策にして、異常に發達せる其の産業生産品の販路を、此所に求めんとするに於て特に然り。彼の華府會議に於て、支那に於ける我が特殊權益を認めたる石井ランシング協定を破棄せしめて九國條約を締結し以て我が國の行動を拘束し、我が海軍力を決定的に束縛せんが爲絶對劣勢比率を受諾せしめ、以て東亞問題に對する發言權を保持せんとし、又滿洲事變に際して我が權益擁護、自衛權の發動を妨害せんとする態度に出でたることは、我が國民の今尙ほ忘るゝ能はざる所である。最近に於ける海軍々縮會議に於て公正妥當なる主張を容認せず、益々巨

額の建艦に努力しあるを觀れば、米國が將來果して東亞問題に對し沈黙を守るや否や疑なきを得ない。

支那の統一運動は、從來國民黨の内部抗争、經濟的不安定、地方軍閥及共產匪軍の跋扈等に依つて阻害されて居つたが、蔣介石の共匪討伐及び之を利用して實施されたる地方軍閥の懷柔撲滅に依つて、武力的に概ね成功を見た。國民黨の内部抗争は、胡漢民の死歿、汪精衛一派の妥協、地方軍閥系國民黨員の解消等に依つて、逐次解消され。其の系統が單一化されたことに依つて團結が鞏固になつた。

一昨年末實施せられたる幣制改革竝中國、交通兩銀行の國家經營及是等新施設に對する英國の有形無形の支持に依つて、財政經濟基礎が鞏固となり、其の不安が著しく減少した。

共産黨は第七回コミンテルン大會以來日本を赤化の目標とし從來の赤化救國の旗幟を改め抗日救國の方針を採用するに至り、國民黨の企圖する抗日運動と目標の一致點を見出すに至つた。

斯くの如く最近支那の統一は大いに進捗しつゝあるが、之と同時に其の軍備就中航空兵力は異常の進歩を遂げ抗日戦備の進捗に伴ひ毎日挑戰的傾向濃厚となりつゝあり。南京政權要路者が軍備充實の上對日復讐戦に出づべきを叫び、學生が對日宣戦の示威運動を盛に繰返しつゝある現状を見れば、好機到來せば外國と提携して挑戰の舉に出づる場合なしとしない。

英國が僅か四千五百萬の本國人口を以て世界可住面積の三分の一を壟斷し、有り餘る富を擁し乍ら、依然巧妙なる外交政策に依り自國利益の維持増殖に腐心しつゝあるのみならず、從來屢々自滿支提携を基調とする我が東亞

平和政策特に対支問題に容喙し、帝國傳統の國策たる東洋平和の確立を阻害せんとする傾向顯著なるものがある。即ち帝政露國が崩壊し、太平洋を中心しに日米關係が生じ、日英同盟存続の必要なく、之が廢棄が英國の爲有利となるや弊履の如く之を棄て、四國協約を締結し、華府會議及倫敦會議に於て帝國に劣勢比率を強要し、一昨年帝國を出し抜いて支那幣政改革に參劃し、香港要塞を修築し、新嘉坡には世界有數の大海軍根據地を建設し、更に我が經濟發展を阻止する爲日印、日蘭兩會商又は日埃通商問題のみならず、全英帝國を擧げて之に參劃して居る。從て英國の行動は我が國策遂行上常に注視を怠り得ないものがある。

世界の現勢は今や戦争の前夜であり、而も帝國を繞る列國の情勢は、政治的に、經濟的に、將又國防的に何れも虎視眈々として帝國の發展を阻止し、

苟も乗ずべき隙だにあらば直ちに飛び懸らんとする形勢にある。蘇聯邦の第二次産業五箇年計畫は本年に、米國の建艦計畫は一九三九年に、又支那の國防三年計畫は本年に何れも完成せんとす。而して帝國が發展飛躍を續くる限り必然的に列國との對立は激化する。不幸にして其の一國と帝國との間に鐵火交えること、ならんか、其の他の諸國は如何なる態度に出づるであらうか、蓋し思ひ半ばに過ぐるものがあらう。

翻つて我が國內の情勢を觀るに政治、教育、經濟、産業、思想等有ゆる方面に於て幾多の矛盾缺陷を曝露し、根本的に之が刷新更張を要するものあるは茲に喋々するを要しない。即ち帝國は今や内外共に非常なる難局に直面して居るのである。

三 非常時の克服

如上世界の太勢と、帝國內外の情勢とよりして、帝國が免るべからざる非常時に直面しある以上、之が克服の具體的處置を講じ些の遺憾なからしむることが、我が國民全部の當然負ふべき重責である。

之が爲には異常なる努力と經綸とを以て國體に即して政治、教育、經濟、産業、思想等國家の有ゆる部面に互つて之を革新教化し、國家の全能力を擴充して國策の遂行を期せねばならぬ。

人往々帝國を圍繞する列國は廣大なる領土を有するを以て進んで日本を攻撃するが如きことは想像し得ない、従て日本にして欲せざれば戰爭の危険はないと説く。果してか、る樂觀が許さるべきであらうか。借間す！今や世界戰爭の危機に頻せる世界の太勢に於て政治的、經濟的に有機的連鎖を有する日本が獨り其の影響を蒙らずして安泰たり得るか。蘇聯邦は何故極東に尤大

なる軍備を配置して居らねばならぬか。英米伊佛は何故倫敦海軍々縮會議に於ける帝國の公正妥當なる提案を拒否して帝國に劣勢比率を強要せねばならぬか。國防の重責を擔任する吾人は、現實の是等事態に對して斷じて晏如たる能はず、巷間屢々認めらるゝが如き爲にせんが爲の無責任の言説に對しては絶對に之を排斥せざるを得ないのである。

斯かる情勢に於て國防の目的を達するに不充分なる軍備は、一朝事ある場合に國家を不測の危険に沈淪せしむる虞あるは勿論、平時に於て無言の威力を發揮するを得ずして國策遂行に支障を來たすものなることは過去の歴史が明瞭に之を實證して居る。固より吾人は國民の經濟負擔、國家財政を度外視して軍備の擴張を期するものではない。然れども帝國は今や東亞の安定勢力として立ち、且滿洲國の獨立保全、日滿不可分關係の向上強化に國を擧げて

有ゆる努力を盡さねばならぬ。加之帝國は今や人口に於て、産業經濟に於て、將又通商貿易に於て未曾有の躍進を遂げつゝある。現代國民は此の情勢を積極的に利導し、我が國運をいやが上にも押し進めねばならぬ。之が爲には國の内外に於て爲すべき各種の重大問題が山積して居る。就中軍備の充實は現下の國際情勢に照應し急務中の急務である。茲に吾人の特に注意すべきことは我が國の軍事費の一般會計に對する割合が列國のそれに比し著しく大なりと非難するものがあることである。抑々軍備の必要の程度は國家の立場と環境とに基いて定めらるべきものなるが故に、國夫々の國防上の事情を輕視し、一律に數字を以て各國軍費の輕重を比較すること自體が既に誤りなるのみならず、各國財政が國民經濟に作用する程度、並軍事費の建方が異なるから軍事費と一般會計との比率を求めることが中々困難であるし、又それを比較す

ることも容易でないのである。帝國と密接の關係にある蘇聯邦が本年度軍事豫算に二百一億留乃至二百五十億留以上の巨額を計上し、前年度豫算に於ける米國の陸軍豫算が約四億二百萬弗、英本國の陸軍及空軍豫算が七千二百七十餘萬磅なるを以て其絶對値か我に比し如何に大なるかを知ることが出来る。吾人は我が國民が俚耳に入り易き斯かる皮相的比率に眩惑せられざらんことを希望するものである。

曩に述べた如く現代は世界を擧げて一大轉換期であり、帝國內外には幾多の障礙が横はつて居る。此の障礙を排除して國運の進展を圖り、進んで世界人類の福祉に貢獻するには軍事、交通、産業等國家萬般の經營に對し一大更張を要するものと信ずる。之が爲には劃期的の財政計畫を必要とする。徒に自由主義的・現状維持的財政に甘んじて無い袖は振れぬの消極的態度に終止

することは、躍進の進勢を挫折し國家の興隆を抑壓し、悔を百年の後に残すものと言はねばならぬ。

四 選舉に對する要望

如上の情勢の下に行はれんとする總選舉に對し吾人は廣義國防の觀點より決して無關心なることは出来ない。蓋し準戰時克服の爲衆議院議員の職責重大なるを顧念するからである。

(一) 國體觀念の最も旺盛なる至純至忠の人物を選出すること

申す迄もなく衆議院議員は帝國議會の一翼たる衆議院に於て、國民を代表し我が憲法政治の實現に翼賛する重責を有する者である。申すも畏きことながら 天皇に於かせられては 天祖の御神勅に基き一視同仁、

神を祭るの 大御心を以てシラスの政事を行はせられて居る。従て之を翼賛し奉る議員も亦此の 大御心に副ひ奉る清明心を以て其の職責を果さねばならぬ。従てそこには黨利黨略もなく、私利私慾もなく一心 君に奉ずるの赤心あるのみ。之が爲には眞に我が國體に透徹せる優良なる人物の立候補並選出が先決條件である。従て一身一家の利益の爲に、名譽の爲に手段方法を擇ばず當選を期するが如きは議員たるの資格に全然缺如せるものと言はねばならぬ。又選舉人の側に於ても自己若は郷黨に有利なる人物なれば國家的に見て其の政見不適當若は有害なりと思はるゝも之を厭はず、或は過去の行動、人格、識見等に顧慮なく候補者に推薦し、有ゆる手段を盡して其の當選を圖るが如きことあらんか、是れ亦我が憲法政治翼賛、忠君愛國の精神に缺けたるものと言はねばならぬ。然

るに選舉人の側に於て往々にして黃白を撤じ、巧に法網を潛り、或は辣腕を振ふ位の人物に非れば代議士として頼もしからずとし、一方被選舉人亦選舉違反乃至政治犯罪に由て刑辟に觸るゝを恥とせざる者絶無なりとは言ひ得ないものがあつたやうである。斯くては選舉人も被選舉人も誠意憲法政治を翼賛する所以でないのみならず、却て之を汚濁し 聖旨に戻り國民の重責を辱しむるものである。一昨年來非常なる意氣込を以て行はれた選舉肅正は公正なる選舉を目的とするが、苟も議員の使命を了解する國民は單に形式的選舉肅正を以て満足することなく、進んで國民の代表として憲法政治翼賛の資格を有する優良なる人物を候補者に推薦し、且之を當選せしむる如く努力することが君に忠なる所以にして、選舉肅正の眞意義は實に茲に存するものと思ふ。

(二) 帝國內外の情勢に鑑み積極的に我が國運伸展に寄與し得る人物を選出すること。

前三項に於て述べたる如く帝國は今や非常時局に直面し政治、外交、經濟、産業、軍事等更始一新を要するものがある。此の難局打開も亦議員たる者の重大使命である。此の難局打開は個人主義的、自由主義的、現狀維持的事勿れ主義の人物では到底負擔することは出來ぬ。帝國は今や内外の情勢を洞察し積極的に我が國運打開の識見抱負並實行力を有する人物を必要とする。滿洲事變に依り目覺めたる我が國民は克く如上帝國内外の情勢と宇内の大勢とを達觀し、非常時局打開に適する有爲の士を候補者に推薦し、之が選出に努力せねばならぬ。彼の父祖の時代より某政黨に投票し來たりたるの故を以て一も二もなく其の政黨所屬候補者に

投票するが如き、或は同校出身者なるが故に一票を之に投ずるが如き、或は傳統的に某氏の地盤なるが故に其の人に投票するが如き等々、選舉人が時局の重大性を顧慮することなく無批判に選舉權を行使するが如きは、國民の責務を完全に果したものは言へない。滿洲事變勃發以來一萬數千の將兵は皇道宣布、盟邦滿洲國建設の爲に斃れ或は傷いた。數萬の將兵は今尙朔北不毛の地に於て之に當つて居る。此の尊き犠牲と慘憺たる勞苦とを活すも殺すも一に其の原動力たる政治の運営如何に係はる、之を思ひ彼を思ふとき、此等將兵の同胞たり、父兄たる有權者は、彼等の犠牲と勞苦とをして益々意義あらしむる如く其の選舉權の行使を慎重にし、非常時局打開の戰士を議政壇上に送ることに心懸けねばならぬ。

(三) 國防強化に透徹する人物を選出すると同時に反軍策動の絶滅を期する

こと。

囊にも述べた如く帝國は内外共に重大時局に直面して居るが、就中國防上最も注意を要するものがある。現代國防は政治、經濟、文教等各般に互り高度の要求を提示する。而して軍事費は國家豫算の重要部分を占むる今日に於て國防を解せず軍事に通ぜざる者は最早政治を論ずる資格を缺くものである。之が爲宇内の情勢に通曉し國防に透徹せる理解を有する人物の選出せられることが極めて必要である。而して國防の要諦は民心の歸一にある。然るに過去に於ける選舉の實踐に徴するに、往々にして爲にせんがために無責任なる言辭を弄し、以て皇軍を中傷譏誣し或は軍民の離間を策する如き者の絶無ならざりしを遺憾とする。斯くの如きは國防上百害ありて一利なく、候補者自身に取りても自ら其の人格の

低劣と、識見抱負の貧弱とを表明するの外何等得る所がない。吾人は現下の非常時局に際し斯かる無自覺なる言動の絶滅を衷心より冀望して已まないが、國民も亦如上帝國內外の情勢に鑑み斯かる言動を絶対に排除し軍民一致協力の實現に努力せられんことを切望して歇まない。之を要するに今次の總選舉は非常時局打開の爲極めて意義深きものにして、如何に選舉肅正が效果的に行はれようとも、選舉人、被選舉人が舊態依然憲法政治翼賛の眞意も、時局の真相も了解反省することなく漫然之に臨むが如きことあらんか國家の前途に多大の暗影を投ずるものと謂はねばならぬ。之を以て選舉する人も、せられる人も共に心を入れ換へ、更始一新清新の意氣と抱負とを以て、相率ゐて今後の重大時局に對し、眞に舉國一致皇猷扶翼に邁進せんことを期待して歇まない次第である。

(終)

369
525

369
525

昭和十二年四月三日印刷
昭和十二年四月九日發行

(非賣品)

東京市麹町區九段一ノ五

發行所 佐藤友兄

東京市麹町區九段一ノ五

印刷者 横山才四郎

東京市麹町區九段一ノ五

發行所 帝國在郷軍人會本部

